

幼児期の子どもに持たせたいもの それは本物の『意欲』 やる気になって やり遂げた数だけ 自信ができる！

出来るだけ早い時期から『意欲』を持っていれば、人生の可能性が広がることは明かです。子どもに『意欲』を持たせる方法、それは、子どもが真剣に挑み向かう体験機会を与えることです。自身の中から湧き出す意思に裏打ちされた本物の『自信』により、かけがえのない生きる力が生まれます。

自然体験 宿泊保育
自然は子どもに四季折々の試練を与えます。

クラシックは2泊3日・アーバンは1泊2日。大自然の環境で体験するプログラムのひとつ、沢登りでは、水しぶきの中、岩を自分の手で掴み、足で探りながら進みます。達成した時に、何かを成し遂げた初めての感覚が潜在意識に残ります。

また、自分が持った釣竿に魚がかかる感覚と重さを知り、手の中で容赦なく飛び跳ね逃げようとする魚を、必死で握りしめて生き物の凄さを知ります。どの子どもも、ひとまわり大きく育つ機会となります。



釣り



沢登り



健康祭（天然芝生の園庭）



音楽祭（京都コンサートホール）



Native English speaking teacher
イングリッシュプログラム

英語の耳を育てるには、日々の保育の中でネイティブイングリッシュティーチャーから自然にシャワーを浴びることです。幼児期にはランチ後に絵本や遊びを通して、自然と『R』や『L』のリスニング能力を身につけます。聞く耳ができると自然と美しい発音ができます。オプションレッスンやイングリッシュプログラムもあります。



衣笠山

スピリチュアル リアリティ

絵本やお話から仲間が共有する体験を持つことで、子どもの優しさ、正義感などの人生の核になる情操を育む時期になります。この時期は人生に二度とない、軽んじてはならない大切な時期です。夢と心を育てる、本気のファンタジーで子どもたちの想像力が膨らみます。

個人目標の設定のしくみ

子ども一人ひとりに応じた、その時々具体的な成長課題を設定し、担任と保護者が協力してひとつずつ確実に成長を達成していきます。

それぞれの子どものコミュニケーション能力について、今必要な課題を見つけ、卒園までに確かな自信をつけていくことを目指します。

FUN DAY 時間や活動にとらわれず

自身で遊びを決める 熱中と没頭 の1日 & プレイチーム

デュアルプロジェクトの一環として子どもの自主性を尊重し、「やりたい遊びを思いっきりできるワクワクドキドキする日！」です。異年齢で好きな場所で好きな遊びを好きなだけ楽しめます。遊びは子どもにとっては、食べることより大好きなこと。何をするか、どのようにするかを自分たちで考えて楽しめます。この日は1日中、子ども自身が自分で決めた遊びを、時間にとらわれることなく、とことんやり込みます。

給食のランチビュッフェも、いつランチルームに行くかは自分次第です。共通の遊びや活動を通して、周りの友達への垣根がなくなり、自然と異年齢の子ども同士が関わり合う子ども社会。その中で、社会的・情動的な学びを獲得し、地力を育てます。

ランチビュッフェ 5品の副食 & 食の安全

子どもたちが選んで食べるビュッフェのルールは、取った分は残さず食べることです。食べられる量だけを取らなければならないこと。自分が食べたいものと量を選んでいくことで、子どもたちの自決力、判断力が培われます。また、食事のマナーやお互いを思いやる心まで自然に体得させる場になります。

脳や体の土台がつくられる乳幼児期。健康のことも考え、栄養はもちろん、材料や調理方法にもこだわります。※有害な食材は一切排除しています。※アレルギー対応は代替え食を用意しています。

天然芝生の園庭 心身の成長

転んでも痛くない。 健康祭

自然を感じながらはだして伸び伸びと駆け回ることが心身の成長につながります。幼児期に転倒や怪我を恐れず、「やるぞ」「頑張るぞ」と、自らチャレンジする気持ちを育み、思いっきり走る体験は、一段早期の身体能力・挑戦心の向上が期待出来るのです。

練習の日々、「できた！」や、勝った喜びと負けた悔しさから挑む意欲が育ちます。技量や成果は、意欲の結果です。運動会は子どもの意欲の成長を観て愛でて認める機会なのです！！

衣笠幼稚園のカリキュラムは
全てこの良質体験を得るためにあります。

国際社会人を目指して 生きる力を育てます。

国際社会人として必要な5つの領域を設定
具体的な30項目の指標をもち



音楽祭『01(ゼロワン)指導法』

自由な子どもにとって合わせる音楽は、初めての窮屈な経験ですが、ストレスを生まない01（ゼロワン）指導法を通して、ひとつになる美しい演奏への目覚めは、子ども自身が「凄いことが出来た！」の達成感から、生まれて初めて見せる凛とした顔になります。